

# 地域を知る！世界を知る！

～十和田市新聞活用教育事業～

☎指導課 ☎0183

市では、「新聞を教育活動に活用し、情報活用能力などの向上を図るとともに、将来のリーダーとしての社会的資質の基礎を養う」ことを目的に、市内の小・中学校25校に全国紙1紙、地方紙1紙を配布する新聞活用教育事業を行っています。

今号では、特色ある活動を行っている学校の中から、高清水小学校と十和田中学校の取り組みを紹介します。

## 高清水小学校

### ❖ 新聞の活用状況 ❖

新聞の記事に興味を持って読み続けられるように、日常的に3つの取り組みをしています。

1. 県内の記事を市町村ごとに集めて掲示するコーナーの設置
2. 日直が朝の会で、その日の新聞から気になる記事を紹介
3. 日本や世界の出来事から気になる記事を選び、感想文を書いて紹介

授業では、総合的な学習や社会科などの資料として、新聞を切り抜いて活用したり、関係する記事を探し意見や感想を紹介したりしています。



市町村ごとに掲示



朝の会での紹介



感想文を掲示

### ❖ 児童・先生からの一言 ❖



中野渡 彩花さん (5年)

青森県のこと、日本や世界のことを知ることができました。また、十和田市だけではなく、他の市町村の取り組みにも興味を持ちました。これからももっと記事を見つけていきたいです。



澤田 凜さん (6年)

新聞を読む活動が活発になり、記事を読んでいくうちに、学習がより深く分かることに気がきました。いろいろな記事を探すのはとても楽しいです。これからも続けていきたいです。

〈川原 朋子先生〉

この新聞の学習を数年間行って、年々子どもたちの新聞への興味が高まっていると感じます。見つけた記事について話し合う場を設けることで、新聞を読む必然性が生まれ、それが興味・関心へと変わり習慣化していったと思います。

今年は特に、新型コロナウイルスのニュースに興味を持って読み、考えることが多くありました。継続した取り組みの成果を実感しています。

## 十和田中学校

### ❖ 新聞の活用状況 ❖

職員室前に新聞を置いて、生徒がいつでも好きな時に自由に読めるようにしています。また、朝の学活や生徒朝会で「今日の気になるニュース」の記事から探し、発表している学年もあります。さらに社会科の授業で「今日のニュース」を紹介している先生もいます。

全校での取り組みとしては、新聞を1人に1部配布し、一通り読んだ中から気になる記事を1つ決めて切り取り、その感想を書く活動を実施しています。全校生徒が書いた感想を廊下に掲示し、内容が良かった生徒を表彰しています。また、感想を読み合うことで違った視点を持った、いろいろなニュースに興味を持ったりする生徒が増えています。



職員室前の新聞を読む生徒



気になる記事の感想を掲示

### ❖ 生徒・先生からの一言 ❖



鈴木 麻友さん (3年)

メディア委員会が中心となってNIE(※)の作文掲示や整理などを行っています。去年は文化祭で展示し、生徒の考えを保護者にも伝えることができ好評でした。

(※) NIE=Newspaper in Education (教育に新聞を)の略



中屋敷 陽菜さん (3年)

3学年朝会では、新聞記事を読んで考えたことをスピーチする活動を行っています。自分では気付かなかったことや、さまざまな視点からの意見を聞いて考えを深められるのが面白いと思います。

〈柏崎 雅子先生〉

インターネットで簡単にニュースを見ることのできる時代ですが、新聞を読む良さも感じてほしいと思っています。普段、新聞をあまり読まない生徒も、新聞を配るとじっくりと読んでいます。また、他の人が選んだ新聞記事や感想を読むことで、違った視点を持った、新聞がより身近に感じたりしてもらえたらと願っています。